

## 6 農業科教員を対象とする海外研修の実態調査

全国高等学校農場協会振興局

### 1 調査目的

本アンケートは、各校（各都道府県）における教員の海外農業（産業）研修に関する取り組みと方向性に関する調査を行い、全国の農業関係高等学校における取り組みと課題について、現状を把握するとともに実施上の課題の解決に向け、関係機関への要請活動の資料とすることを目的として実施する。

### 2 対象

農業関係学科を設置している高等学校

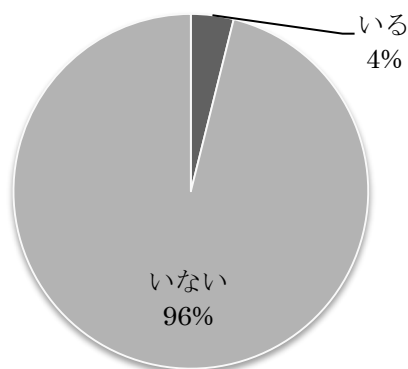
### 3 アンケート結果

アンケート調査を依頼した農業系学科を設置している学校 376 校中 371 校、97%の学校から回答を得た。

#### 3-2 平成 29 年度海外研修の実施状況

参加可能な農業科教員向けの海外研修が「ある」と回答した学校は 25 校で全体の 7%に満たなかった。そのうち教員の海外研修を実施した学校は 14 校であり、全体の 4%程度であった。（図表 3-2-1）。海外研修に参加した教員の所属学科は、農業・園芸学科 11 名、食品系学科 1 名、環境系学科 1 名、その他 2 名で、合計 15 名の農業科教員が海外研修を行った。

「実施あり」とした学校に実施内容を記入してもらった。研修受け入れ国は台湾、フランスが多い（図表 3-2-2）。平均研修日数はフィリピンの 180 日を除いて、おおむね 1~2 週間以内であった。「研修日数は十分に確保されているか」という問には、「十分に確保されている」、「ある程度確保されている」が 12 校で、「あまり確保されていない」が 1 校、「まったく確保されていない」が 1 校であった。



図表3-2-2 研修受入国別の研修日数と受けた支援

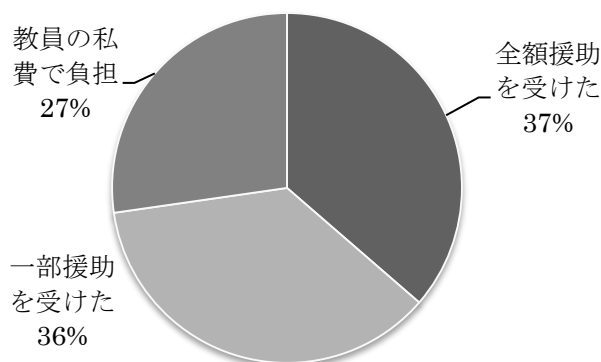
| 受入国   | 件数 | 平均研修日数 | 支援                                  |
|-------|----|--------|-------------------------------------|
| 台湾    | 4  | 4      | 青森県「農力開花」事業<br>県教育委員会の事業<br>支援なし(2) |
| フランス  | 4  | 7.5    | フランス国からの往復旅費、滞<br>在期間中の宿泊費、移動費(4)   |
| オランダ  | 2  | 6      | 旅費の一部の支援                            |
| フィリピン | 1  | 180    | 支援なし                                |
| スイス   | 1  | 10     | はごろも教育研究奨励会                         |
| ブラジル  | 1  | 14     | 支援なし                                |

図表3-2-1 平成29年度に海外研修に参加した農業教職員はいるか

#### 3-3 海外研修の費用負担について

海外研修の実施があったと回答した学校に対して、費用の援助の有無を聞いた。費用負担について全額の援助があったと明記された回答が 4 校（支援者：都道府県、派遣先政府、民間企業）、一部援助があったとの回答が 4 校（支援者：関係省庁、都道府県）であった。また、教員の私費で全額を負担

した学校も3校あった（図3-3-1）。



図表3-3-1 平成29年度海外研修の費用負担について

また、海外研修における必要なサポートとして、「旅費の補助などの費用面での援助」や、「通訳や事前のレクチャーの充実」などの意見があった。

### 3-4 海外研修を実施しなかった理由

海外研修の実施がなかったと回答した学校に対して、その理由を聞いた（図表3-4-1）。海外研修を実施しなかった理由については、「公務多忙のため」が86件（35%）で最多となり、時間的な余裕がないという理由を挙げた学校が多かった。「機会・情報がない」が69件（28%）と2番目に多かった。次に多かった理由が「希望者がいない」で19件（16%）、次いで「教員数が少ない」が19件（8%）となった。「教員が少ない」との回答には、「教員数が少ないため、研修で抜けてしまうと校務がままならなくなる」という意見が多かった。

図表3-4-1 海外研修に参加しなかった理由

| 理由           | 件数(%)  |
|--------------|--------|
| 業務多忙のため余裕がない | 86(35) |
| 機会・情報がない     | 69(28) |
| 希望者がいない      | 40(16) |
| 教員数が少ない      | 19(8)  |
| 費用負担が大きい     | 15(6)  |
| 必要がない        | 10(4)  |
| 時期が合わない      | 3(1)   |
| 希望したが落選した    | 3(1)   |
| 適当な研修がない     | 1(0)   |

## 4 分析とまとめ

- ① 平成29年度の農業教員の海外研修はほとんど実施されていない（実施率4%、昨年度は7%）。
- ② ほとんどの研修期間は2週間以内であり、国内研修よりも長期間である。日数については現状の研修内容ではある程度確保されているといえる。
- ③ 費用負担については、全額援助、一部援助、自己負担が同程度の割合であった。
- ④ 海外研修に参加しなかった理由について、公務が多忙であったり、教員が不足しているなどの理由で職場を長期にわたって空けることができないことも海外研修が実施されない主な要因となっており、これは昨年度と同じ傾向である。
- ⑤ 昨年度同様、海外研修について情報が周知されていないという現状も明らかになった。